

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和6年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和7年5月15日
②法人・団体名	特定非営利活動法人 キッズドア		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒104-0033 東京都中央区新川 2-16-10 プライムアーバン新川 2 階		
④責任者氏名	渡辺 由美子	(役職名等)	理事長
⑤担当者氏名	土井 清子	(役職名等)	チーフコーディネーター

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R06-002	⑦助成金額	268 万円	⑧申請カテゴリー	FS
⑨奨学活動名	無料学習会居場所事業「寺子屋宝珠庵」				
⑩主な実施場所名・及びその住所	東京都練馬区谷原 6-7-5、HOUJUAN				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

別添「様式3-2」をご参照ください。

- ・面談の実施：新規＆修了時（現状の把握のため：親子関係・家計状況・通学有無など）
- ・食事提供：地域 NPO 法人との協力継続あり。食育・孤食防止・家計負担軽減。
- ・体験：①地域の力を借りた屋外体験。②外部団体の情報提供を共有。
- ・夏期講習／冬期講習／中3受験対策／V もぎ無償提供2回
- ・プチイベント（お楽しみ会、クリスマス会、餃子パーティ、ハロウィーンパーティなど）
- ・情報提供（外部団体のスポーツイベントや助成金の情報など）
- ・大学生学習支援員ボランティアの活躍を応援する場所
- ・7月～翌3月は71回の開会（令和6年度合計：96回）
- ・修了生支援：高校生になった修了生への情報提供。途切れのない継続支援。
- ・学習支援員支援：弊団体で行われる研修をご案内。学び深める。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式3-2等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	125	3h	375h	
高校生等				
大学生等				
学習支援員等	412	3.5h	1442h	学習指導+ミーティング（食事提供支援員は⑬へ）
その他	216	2.5h	540h	支援対象：小学生/登録人数
合 計			2357h	

⑬その他の定量的な数値（任意）

軽食提供をしてくださる団体の来所（7 月～3 月までの数）

延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)
121	2.5h	302.5h

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：無料学習会居場所事業「寺子屋宝珠庵」

法人・団体名：特定非営利活動法人キッズドア

作成者 氏名：土井清子

【概要】

- ・経済的な理由により学習塾に通えないご家庭（ひとり親家庭、生活困窮家庭、外国人家庭など）の小学校 4 年～中学 3 年生に対し、個別指導(もしくは 2 対 1) 形式で無料の学習支援活動を実施する。
- ・地域密着型の学習会として、宝林寺所有の戸建て住宅を借りて火曜と金曜に一日二部制で実施する。
- ・無料で食事の提供を行い、孤食を防ぎ、調理体験、食育も学べるような手作りイベントを実施する。
- ・第三の場所として学校でもない、塾でもない地域の大人がサポートするあたたかい場所を提供する。

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

・孤立家庭支援

目的・・・孤立支援。

実施内容・・・夫との離婚を前提とし地方から東京に越してきた母親から子どもを入会させたいと問い合わせがあり、すぐに入会させた。住む場所も行政の援助で決まったばかりで、孤立していた。

小学 4 年生の子どもは複雑な事情ですぐに公立小学校に入学出来ず、寺子屋宝珠庵で学習サポートと食事支援。週 2 回利用可能としフォローを行った。

（諸事情で、学校入学まで 2 か月かかった）

・食事の提供

目的・・・家計の負担減。孤食の防止。美味しくて栄養のある食事と、楽しい食卓の提供。

実施内容・・・今年度も地域の NPO 団体のご支援があった。団体内のボランティア活動が毎回キッチンで調理をしてくれるのでいつもあたたかく、栄養の考えられた食事が摂れる。団体からは食材提供もあり、調理ボランティアとの会話の中でも社会性を身に付けられ、食育にもつながる貴重な時間となっている。

・体験格差解消：地域連携と屋外体験

目的・・・体験格差の解消。

地産地消。

実施内容・・・体験格差が広がっていることも報告されています。

寺子屋宝珠庵は練馬区にあります。都内ですが周辺はまだ畑や農園があり、近所の方の知り合い農園さんをお願いし、秋に特別イベントとして日曜日に開催しました。天気にも恵まれ、サツマイモ、インゲン・青菜などを掘ったり摘んだりする体験ができました。



樫の芽会の助成表示

2. 実施した奨学活動の詳細

・参加（出席）人数

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小学生	24	15	18	27	33	26	27	22	24	216
中学生	16	10	13	16	19	14	14	11	12	125

・夏期講習（7月・8月の5日間）：プチイベント開催

① 初めての茶会（薄茶を点てる体験 & 飲んでみる）

学習指導のボランティアさんが、和装で来てくれてお点前指導も行いました。



② 3名の大学生ボランティアによる「バナナアイス作り」「オノマトペ研究会」「エジプトの謎」。企画・運営・資料作成、全てそれぞれ3名の大学生が計画・実施しました。



③ 万華鏡作りと、古衣でトンボブローチも手作り。作成前に「布」についても学びました。



・冬期講習（2日間）、中3受験生対策（12/27）

中学3年生に対しては、いつもより長めの時間を用意して受験対策とした。

プチイベントも行い、ご住職へサプライズで感謝の気持ちのメッセージボードを用意しました。

メッセージボードは寄せ書きにして、生徒は勿論、学習指導ボランティアさんにも書いていただき、生徒から手渡ししました。

写真に写る（上部）オレンジ色の折り紙は、手渡す直前に生徒が機転を利かせて急いで大作（鳥）を作ってくれました。

ご住職



鳥

・特別企画：社会貢献活動の受け入れ。

冬期講習実施中1月7日。生徒：8人参加。

ランドポート株式会社/インターン大学生によるプレゼンテーションを実施。

ソーラー式ランタンを生徒一人ひとりにプレゼントとして贈ってくれました。

このランタンで家庭内の電気代削減が可能。

また、停電時や災害時の非常用ライトとしても活用できる。そして、親の帰りが遅く、一人で食事をするなど夜間を一人で過ごすことが多い子どもたちに、少しでも心の安らぎと温かさを感じてもらうことを目的としている、とのことでした。

（報告書はランドポート様に提出しました）



報告書↓



・季節ごとのイベントやお楽しみ会



自分たちで作ると何故かおいしい！

ウルトラマンが飛び入り参加！



↑クリスマス会：恒例ギョウザ作り体験

↑ハロウィーン



3月25日修了式：自分で好きな具材を乗せたピザトースト作りをしたり、ご住職から花束貰ったりしました。この笑顔が証明。

↑修了式：人生ゲーム中（お正月のような親戚の集まりみたいになっています）

・地域連携 お彼岸のマルシェ

3月20日。同じ練馬区にある「教学院」様でお彼岸のマルシェ開催。練馬区産のキャベツやネギを販売しました。

キッカケは、寺子屋宝珠庵の軽食ボランティアである「認定 NPO 法人アクト練馬たすけあいワーカーズエプロン（略称エプロン）」様が教学院様にお誘いを受けたとのことで、寺子屋宝珠庵の私もお誘いをエプロン様から受けて参加しました。

春のお彼岸の中日である「春分の日」。先日降った雪も境内に残っていましたがこの日は天気にも恵まれ、楽しく販売のお手伝いをすることができました。



・食事提供&地域連携 71回・約462食（7月～3月）

寺子屋宝珠庵と同じ練馬区にある「認定 NPO 法人アクト練馬たすけあいワーカーズエプロン（略称エプロン）」様のご支援をいただき、子どもたちへ健康的なバランスのある軽食を毎回提供してもらっています。

苦手な物や酸っぱいもの、硬いもの、辛い物など子どもの繊細な味覚を考えて提供していただきます。

寺子屋宝珠庵の利用のキッカケとして「食事が楽しみだから！」と、開始した子も多い。12月に加入した新規生徒が驚いていたこととして「毎回デザートがあること！」だと保護者から聞きました。軽食提供だけでない子どもたちとの会話や修了式などでは祝辞をもらったりと、大人との関わりが持てる大事な時間となっています。

また、「令和の米騒動」ともいわれるほどに品薄、個数制限、キロ数が少ない、高価なお米を十分に確保するのが難しい状況で苦労している保護者からも喜んで貰っております。



・修了生支援

昨年修了し寺子屋宝珠庵の対象外となった現在高校1年となる生徒の保護者から連絡がありました。生徒自身は元気であるとのことで安心したが、お母さまの体調はまだよくないようで、行政のお世話にもなっている、他にも家族の話や、生活環境の変化を教えてくださいました。

高校生指導ある学習支援を受けたいとのことで、板橋区で行っている弊団体の学習会（学び合いプレイス）をご案内し、その他の有用な情報も提供した。

話の中で教えてくださいましたのがその生徒の将来の夢が「教師」とのこと。寺子屋宝珠庵で学習支援員から教えてもらったことがもしかしたら将来の夢と繋がったのかもしれないとみんなで喜び合いました。大学生になって、学習支援員として戻ってきてくれるのを楽しみに待っています。（チラシは弊団体共通のもの）



・学習支援員 「フォローアップ研修（無料・オンライン）」

フォローアップ研修の実施（2回）

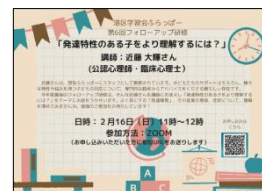
「寺子屋宝珠庵」で勉強をしてくれるのは全員ボランティアです。

開始から3年目となる「寺子屋宝珠庵」では、ボランティア活動が3年目に



なる方もいれば、今年からの方もおられます。社会人や大学生、リタイア生活の方など様々な背景をお持ちです。

学習支援員（ボランティア）が、日々子どもたちと触れ合う中で「自学自習ができるようになる事」や「苦手意識の克服」、「自立」を目指し、子どもや保護者に何でも与えるのではなく、自分の力で学べるような支援を考えて提供して下さるようお願いしています。



今年度もキッズドアが企画運営した「フォローアップ研修」を案内し、学びを深めました。

・パソコンとWi-Fi（ポケットWi-Fi）の貸し出し

自宅にWi-Fi環境が整っていないため、不便を感じている寺子屋宝珠庵利用中のご家庭が「貸し出し」を希望された。現在の寺子屋宝珠庵では特にこのようなサポートをしていないのだが、要望すること自体が勇気のある事で、こういったSOSを出せる力を寺子屋宝珠庵には出しても良いと思ってくれた（頼ってくれた）事が保護者の成長ではないか。

弊団体の担当に伝え、用意してもらい貸し出しする事が出来た。高校入試に関わる手続きについては、パソコンで行う事でスムーズに出来、時間の短縮や画面操作のしやすさなど、助かったとのこと。これからも柔軟に対応していきたい。

・主な協力団体

- ・宝林寺
- ・特定非営利活動法人アクト練馬たすけあいワーカーズエプロン
- ・おてらおやつクラブ
- ・こどもまんなかネットねりま（HP：<https://komaneri.com/>）
- ・練馬区社会福祉協議会

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

・得られたもの

昨年の反省点であった「不登校生徒支援」に関し、学習支援員や、調理ボランティアとの連携で寺子屋宝珠庵に来てくれた時は学習以外の楽しい事ができるよう「食」と「心」「体験」などできること意識した。それが功を奏したかはその生徒の心の変化で、数値で表せられずははっきりとはわかりませんが、「学習塾」に行けるようになり「通学」も視野に入れている、とのことだった。寺子屋宝珠庵の対象生徒が「経済的な理由から、塾や家庭教師、その他の有料教育サービスを受けていない。または、受けているが、十分ではない」ことに該当する方が対象なので対象外となり修了しましたが、結果的には自信がついてひきこもりからの脱出ができたと思っております。

・反省点

弊団体の修了時アンケート調査を2月に実施したところ、「できなかったことや新しい事をやってみてスタッフやボランティアの人にほめてもらえた。」という質問に対し、「よくある：4～まったくない：1」の回答で「2」だった。

学習支援のボランティアとは状況を伝えて共有したが、褒めることがいかに難しい事であるか、もっと褒めないと伝わらない事など、生徒がアンケートの中で正直に答えてもらったことで我々の反省点・課題となり次につなげていくキッカケとしたい。

・今後への発展性

弊団体では、学習支援の他、子どもたちの「食」と「心」、そして「未来」を支える支援にも力を入れています。

寺子屋宝珠庵にも、冷房や暖房も使うのを躊躇する子どもや、勉強の為に点けるデスクライトを休憩時は消してくれる子ども、出されたものは苦手なものも頑張って食べる子どもがいます。

節電する事や、残さず食べる「勿体ない」事をしつけられているのは素晴らしいのですが、子どもたちは静かに苦しい日々を送っているのかもしれません。

年が明けてもまだ続く米の価格高騰を筆頭に、物価高の中、保護者も苦しんでいるであろう事が現場からわかるからです。

寺子屋宝珠庵のようなごはんも食べられて、宿題のサポートもしてくれて、食材や文具も提供され時々持ち帰られるあたたかい第3の居場所は、今後もまだ必要とされる、という現実があります。

今後も多くの方々に支えてもらいながら事業を進めていかななくてはいけないと改めて思っています。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

【不登校児】

利用2年目になる不登校児（小学生）が通学できるようになったと報告を受けました。その後再び、不登校にはなってしまいましたが、頑張って通学していたことは我々にとっても嬉しい報告でした。

寺子屋宝珠庵の生徒は退会生徒も含め、不登校児もしくは不登校気味・不登校経験者は50%程度と高い比率となっている。

【寄付】

学習支援員（ボランティア）によるご寄付が多い。食材のお米や野菜、果物など貰ったから、育てた野菜だから、知育玩具を提供したい、読書家の生徒に合う書籍が見つかったから購入してみた、など子どもたちにとっても我々にとっても嬉しいお申し出があり、優しい気持ちになります。

また、寺子屋宝珠庵開始当初から応援してくれているボランティアさんもいて、ふるさと納税のお肉やアイスクリーム、新鮮な果物を定期的に送ってくださり、現場には現れないあしながおじさんのような方もおられます。

そういった多くのあたたかい支援を感じて、子どもたちには感謝の気持ちが芽生え「大人になったら寄付する人になりたいな」などの声が聞かれました。ボランティアの姿は大きな存在です。



5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）